



# **SnapDrive for UNIX**

## を使用してストレージサイズを拡張します

### Snapdrive for Unix

NetApp  
October 04, 2023

This PDF was generated from [https://docs.netapp.com/ja-jp/snapdrive-unix/aix/concept\\_guidelines\\_for\\_the\\_storage\\_resize\\_command.html](https://docs.netapp.com/ja-jp/snapdrive-unix/aix/concept_guidelines_for_the_storage_resize_command.html) on October 04, 2023. Always check [docs.netapp.com](https://docs.netapp.com) for the latest.

# 目次

SnapDrive for UNIX を使用してストレージサイズを拡張します .....	1
storage resize コマンドのガイドラインを参照してください .....	1
SnapDrive storage resize コマンドを使用するために必要な情報 .....	1
ストレージのサイズを拡張するコマンド構文 .....	3
ホストボリュームおよびファイルシステムのサイズ変更処理 .....	3

# SnapDrive for UNIX を使用してストレージサイズを拡張します

SnapDrive for UNIX では、ストレージ・システムのボリューム・グループまたはディスク・グループのサイズを拡張できます。これを行うには、SnapDrive storage resize コマンドを使用します。



このコマンドでは、ホストボリュームまたはファイルシステムのサイズは変更できません。たとえば、resize コマンドを使用して、LUN 上のファイルシステムのサイズを変更することはできません。基盤となるディスクグループのサイズを変更したあとに、LVM コマンドを使用してホストボリュームとファイルシステムのサイズを変更する必要があります。

ストレージのサイズ変更処理は、次の一般的なカテゴリに分類されます。

- ストレージの拡張先となるターゲットサイズをバイト単位で設定します
- ストレージの拡張に使用するバイト数を指定します

SnapDrive for UNIX では、システム生成の LUN が追加されます。50 MB など、ストレージの拡張に使用する量を指定すると、LUN は 50 MB になります。ストレージにターゲットサイズを指定すると、現在のサイズとターゲットサイズの差が計算されます。異なるサイズの LUN を作成した場合、その LUN のサイズが表示されます。

## storage resize コマンドのガイドラインを参照してください

SnapDrive storage resize コマンドを使用する場合は、いくつかのガイドラインに従う必要があります。

- ストレージのサイズ変更処理で拡張できるのは、ストレージのサイズ変更のみです。エンティティのサイズを縮小するために使用することはできません。
- すべての LUN は、同じストレージシステムボリュームに存在する必要があります。
- サイズ変更処理では、論理ホストボリューム、または論理ホストボリュームまたは LUN 上のファイルシステムは直接サポートされません。その場合は、LVM コマンドを使用してストレージのサイズを変更する必要があります。
- LUN のサイズは変更できません新しい LUN を追加するには 'addlun オプションを使用する必要があります

## SnapDrive storage resize コマンドを使用するために必要な情報

SnapDrive storage resize コマンドを使用するには、いくつかの情報を入力する必要があります。この情報は、コマンドを正しく使用する場合に役立ちます。

要件	引数
ディスクまたはボリュームグループのサイズを拡張するかどうかを決定し、該当する引数を使用してそのエンティティの名前を入力します。	ディスク・グループ（-dg file-spec）またはボリューム・グループ（-vg file-spec）
_name には、ディスクまたはボリュームグループの名前を指定します	<p>ストレージサイズを拡張する方法を決定します。このコマンドを使用するときは、次の点に注意してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• size 引数に指定されたバイト数だけエンティティサイズを大きくするには '-growby オプションを使用します</li> <li>• 新しい合計サイズが size 引数で指定されたバイト数になるように ' エンティティサイズを大きくするには '-growto オプションを使用します</li> <li>• 内部で生成された新しい LUN を基盤となるディスク・グループに追加することにより ' エンティティ・サイズを増やすには '-addlun オプションを使用しますこの引数を使用しない場合 '-dgrowby オプションまたは -growto オプションで指定されたバイト・サイズを満たすように SnapDrive for UNIX によってディスク・グループの最後の LUN のサイズが増加します</li> </ul>
ストレージの拡張に使用するバイト数を指定します（-growby_size_）	「_バイト数_」
ストレージが到達するサイズをバイト単位で指定します（「-growto size」）	「_バイト数_」
ディスク・グループに新しい LUN を追加することにより 'UNIX 用 SnapDrive にサイズを拡張させる（-addlun）	
SnapDrive for UNIX に、スペースリザベーション「-reserve」を作成するかどうかに関係なく、サイズを大きくするよう指示します	
<ul style="list-style-type: none"> <li>• オプション： * igroup 名を指定する代わりに、デフォルトの igroup を使用することを推奨します。</li> </ul>	igroup 名（「-igroup」）
ig_name	「-fstype」を入力します
「TYPE」	「-vmtype」と入力します

要件	引数
「TYPE」	<ul style="list-style-type: none"> <li>オプション： SnapDrive for UNIX 操作に使用するファイルシステムとボリュームマネージャのタイプを指定します。</li> </ul>

## ストレージのサイズを拡張するコマンド構文

ストレージのサイズを拡張するには、使用する正しい構文を確認しておく必要があります。

```
* SnapDrive storage resize -dG_file_name spec{-growby | -growto } size [-addlun
[-igroup_ig_name_[ig_name...] [{-reserve|-noreserve }]] [-fstype_type_][-
vmtype_type_]*
```

SnapDrive storage resize コマンドを使用して、エンティティのサイズを縮小することはできません。サイズを拡張するには、このコマンドを使用する必要があります。

SnapDrive storage resize コマンドは ' 論理ボリュームまたはファイル・システムでは直接サポートされていませんたとえば、 lun storage resize コマンドを使用して、 SnapDrive 上のファイルシステムのサイズを変更することはできません。



- result \* : このコマンドは、次のいずれかを使用してストレージエンティティ（論理ボリュームまたはディスクグループ）のサイズを拡張します。
- バイトをストレージに追加する (-growby-)
- サイズを指定したバイト・サイズに増やす（「-growto」）。

## ホストボリュームおよびファイルシステムのサイズ変更処理

SnapDrive storage resize コマンドは ' ストレージ・システムのディスク・グループおよびボリューム・グループにのみ適用されますホストボリュームまたはファイルシステムのサイズを拡張する場合は、 LVM コマンドを使用する必要があります。

次の表に、各プラットフォームで使用できる LVM コマンドをまとめます。これらのコマンドの詳細については、マニュアルページを参照してください。

* ホスト *	* ボリュームマネージャ *	* ホストボリューム *	* ファイルシステム *
AIX の場合	LVM	extendlv`	「 chfs 」

## 著作権に関する情報

Copyright © 2023 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S. このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータ ソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

## 商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。